

## 米・US インターナショナルアワードで 「二条城音舞台」(英語版)が銀賞を受賞

2024年のUSインターナショナルアワードにおいて、当社が製作した「二条城音舞台」(英語版:NIJO-JO OTOBUTAI)がドキュメンタリー&リポートの「文化&ライフスタイル」部門で銀賞を受賞しました。

「音舞台」は1989年から毎年、古都の名刹に“舞台”を設え、「東洋と西洋の出会い」をテーマにした音楽イベントです。受賞作品はシリーズ35回目として2022年9月3日に行われた「二条城音舞台」の様をまとめたものです。

1967年に始まったUSインターナショナルアワード([www.usinternationalawards.com](http://www.usinternationalawards.com))は、ドキュメンタリー、オンライン・ソーシャルメディアなど各種の映像作品を対象に開かれる国際コンクールです。昨年も「西本願寺音舞台」が銀賞を受賞しています。また、「二条城音舞台」の海外コンクールでの受賞は、2024年4月のニューヨークフェスティバル「ファイナリスト賞」に続き2回目です。

(※なお、今年の音舞台は、9月7日(土)奈良・法隆寺で開催、後日地上波・全国ネットで放送予定。)

受賞作品 : 二条城音舞台 (NIJO-JO OTOBUTAI) 2023年2月22日(水)放送分の英語版  
出演 : LEO、佐藤隆紀(LE VELVETS)、小林愛実、森麻季、田中泯、土屋太鳳  
ナレーター : ゲーリー・テグラー  
演出 : 高沖秀明 プロデューサー : 三浦敏彦、村上嘉章  
ディレクター : 尾崎洋仁 技術 : 上田一路  
カメラ : 田中慶太郎 音声 : 金谷宣宏  
ポスプロ : 佐藤雅哉 M A : 久保秀夫  
イベント制作 : 黒田雅浩、金谷かほり  
主催 : 京都仏教会、京都市、毎日放送 協賛 : 大和証券グループ 協力 : 日本航空 後援 : 京都新聞

### 【番組内容】

1603年の築城以来400年以上に渡って歴史の変遷を目撃してきた二条城が今回の舞台です。その城郭内では、障壁画を始め、各所に植えられた松の存在感が際立っています。俳優で世界的ダンサーの田中泯さんが二条城の松を演じ、開演から終演まで舞台上で踊り続けます。田中泯さんと真剣勝負のコラボレーションをしたアーティストは、箏のLEOさん、テノールの佐藤隆紀さん、2021年のショパン国際ピアノコンクール4位も記憶に新しいピアニストの小林愛実さん、ソプラノの森麻季さんという、いずれも日本を代表する実力者揃い。LEOさんが今回のために作曲した箏曲「松風」をはじめ、11曲にも及ぶコラボレーションが静寂の夜の二条城で繰り広げられ、アーティスト同士の魂がぶつかり合う迫真のパフォーマンスをお届けします。

女優の土屋太鳳さんは旅人として登場。土屋さんの対談も番組の大きな見どころ。土屋さんはLEOさんについて「ものすごくパワーのある人」と印象を語り、小林愛実さんとは同年代ということで距離が縮まったと話し、田中泯さんについてはドラマでの共演経験もあり「尊敬している」と語ります。京都好きの土屋さんが「ずっと前から来てみたかった」という、二条城の普段見ることができない場所も紹介します。

本件問い合わせ先 : 毎日放送 総合編成局 マーケティング・PR部